

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
19時12分30秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02240 公園整備事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 横山 秀行
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	002	人がふれあうまちの形成		
事務事業	004	公園整備事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	市民に憩いと潤いの場になる公園が
目的	整備されます。
手段	市民に憩いと潤いの場を提供する役割とともに、環境保全や防災、景観形成などの重要な役割を担う公園を計画的に整備します。また、社会情勢の変化の中で、市民ニーズに応える公園整備が今まで以上に必要ですので、公園設計においては市民の意見を積極的に取り入れ、市民が愛着を持てる公園づくりを目指します。
事務内容	平成10年度より、公園設計段階において地域住民の参加によるワークショップ（公園づくり意見交換会）を実施し、市民ニーズを公園計画に反映し、愛着感を持てる公園整備を行っています。 平成21年度より、地域住民に植樹作業に関わっていただき、公園に対する関心を高めてもらうと共に樹木の大切さを感じていただくため、植樹祭を実施しています。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	101,233	318,819	132,896
事業費	90,523	308,109	116,516
国庫支出金	14,500	111,000	37,000
県支出金	6,900	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,000	0	0
一般財源	68,123	197,109	79,516
人件費計	10,710	10,710	16,380
正規（人）	1.70	1.70	2.60
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	桜井4号公園整備 南明治2号公園実施設計 昭林公園整備	桜井6号（桜井稲荷西）公園実施設計 南明治2号（末広）公園整備 古井町地内公園実施設計 古井町地内公園用地購入	桜井6号（桜井稲荷西）公園整備 古井町地内公園整備

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02240 公園整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
整備された公園	箇所	2.00	1.00	2.00
		2.00	1.00	0.00
整備された公園	h a	0.43	0.30	0.46
		0.41	0.30	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	憩いの場の提供により、市民サービスが向上します。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、概ね順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	補助金を活用した整備を行なっています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	ワークショップを取り入れた整備を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	公園整備は、今まで以上に市民ニーズに応えることが必要であるため、公園設計において市民の意見を積極的に取り入れたためワークショップを行い、市民が愛着を持てる公園づくりを目指します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月25日
19時12分30秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02241 油ヶ淵公園整備事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 横山 秀行
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002 環境		
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）		
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成		
事務事業	005 油ヶ淵公園整備事業		
事業期間	平成12年度～令和8年度	27年間	
実施方法	一部委託		
会計区分	一般会計	事業区分	政策的
健全事業		マニフェスト	性質別費目
根拠法令等			地方創生
備考			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	近隣市で構成する整備促進協議会を通じ、公園整備の事業主体である「愛知県」に早期実現を促すとともに、愛知県の用地取得に協力し事業推進を図ります。また、平成25年度より油ヶ淵水辺公園整備促進協議会において、国土交通省及び国会議員への要望活動を再開しました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	4,319	3,993	5,948
事業費	539	213	278
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	539	213	278
人件費計	3,780	3,780	5,670
正規（人）	0.60	0.60	0.90
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	幹事会2回、総会1回開催 愛知県、国土交通省及び地元国会議員へ要望書提出 開園式典	幹事会1回、総会1回開催 愛知県、国土交通省及び地元国会議員へ要望書提出	幹事会1回、総会1回開催 愛知県、国土交通省及び地元国会議員へ要望書提出

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02241 油ヶ淵公園整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	県が事業主体で市は協力して実施するものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	公園整備により、市民の利便性の向上に努めます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	要望書等の作成部数を精査するなど、費用の削減に努めます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	整備促進協議会にて、効率的な要望活動の実施に努めます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	公園の一部供用ができましたが、油ヶ淵水辺公園整備促進協議会を通じ、第1期整備区域全域が一刻も早く供用開始できるよう、県と国へ要望を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 2年 8月25日
19時12分30秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02242 公共施設緑化事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 横山 秀行
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）				
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成				
事務事業	006 公共施設緑化事業				
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	すべての市民が
目的	豊かな緑ある環境で、快適な生活を送ることができます。
手段	緑の基本計画に基づき、市内の公園、道路、河川を始め、公民館や学校などの公共施設や市有地を、積極的に緑化します。
事務内容	植栽については将来の生育状況を加味した適正な樹種の選定及び植栽密度とし、維持管理費の低減、周辺への影響を少なくすることに努めました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	17,383	17,273	22,338
事業費	11,713	11,603	14,778
国庫支出金	0	0	0
県支出金	2,946	3,000	6,000
地方債	0	0	0
その他	191	201	306
一般財源	8,576	8,402	8,472
人件費計	5,670	5,670	7,560
正規（人）	0.90	0.90	1.20
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	桜西公園植樹祭 油ヶ淵水辺公園植樹祭 緑化資材購入費	南明治2号（末広）公 園植樹祭 緑化資材購入費	桜井6号（桜井稲荷西 ）公園植樹祭 古井町地内公園植樹祭 緑化資材購入費

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02242 公共施設緑化事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
公共施設の緑化推進（補植）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	公共の緑化により、市民サービスの向上に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、概ね順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	補助金を活動した植樹祭を開催しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	地域や公園規模による植樹祭を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新規公園の開園には、地域住民が愛着を持っていただくよう植樹祭を実施しています。今後も、経費の削減を実施するため、補助金を最大限利用することに努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 2年 8月25日
19時12分30秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02243 緑化協働推進事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 横山 秀行
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）				
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成				
事務事業	007 緑化協働推進事業				
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市緑化条例				
備考					

【事業分析】

対象	緑化推進を市民と協働で行うことで市民が
目的	緑化に対する意識を高めることとなります。
手段	緑化の啓発、緑の募金、緑化推進のための情報提供を行います。
事務内容	緑化審議会で、保護樹木・保全地区の指定をします。 緑の募金を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	5,731	5,730	8,307
事業費	61	60	117
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	61	60	117
人件費計	5,670	5,670	8,190
正規（人）	0.90	0.90	1.30
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	緑化審議会開催（緑の基本計画審議含む） 緑の募金（4月～5月）	緑化審議会開催 緑の募金（4月～5月）	緑化審議会開催 緑の募金（4月～6月）

事務事業評価シート（2/2）

8頁
令和2年8月25日
19時12分30秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 02243 緑化協働推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
「緑の募金」募金金額	万円	800.00 782.00	800.00 764.00	800.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市内の緑化により、市民サービスの向上に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、実施が下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	企業募金を増やすため、企業に協力を依頼します。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	募金額は県内2位であり、市民へ周知がされています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	緑の募金は、市民の緑化の意識向上が図れられており、募金額は横ばい状態です。昨年度は、新規企業1社の賛同を得られましたが、今後も、募金額を上げるよう新規の企業に協力を依頼したり、周知のためのPRに努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 03091 緑の基本計画推進事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 横山 秀行
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成			
事務事業	043 緑の基本計画推進事業			
事業期間	平成31年度～平成31年度	1年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	安城市緑の基本計画を
目的	緑づくりをより積極的に推進するため
手段	施策の取組みを、関係機関と協議を行います。
事務内容	緑化審議会で報告を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	0	8,252	0
事業費	0	2,582	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	2,582	0
人件費計	0	5,670	0
正規（人）	0.00	0.90	0.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】		緑の基本計画アクションプラン策定	

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001402010 公園緑地課公園整備係
事務事業 03091 緑の基本計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
緑の基本計画アクションプラン策定進捗率	%	0.00 0.00	100.00 100.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	アンケート結果の施策であり、市民ニーズは十分あります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、概ね順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	緑化を推進するため、効率的な検討を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体と同様に民有地の緑化推進を図る必要があります。		

【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	平成30年度に作成した緑の基本計画を実施するため、具体的な事業や取組み、時期を設定し、緑の基本計画アクションプランを策定しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02245 公園補修事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成			
事務事業	009 公園補修事業			
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生 健幸
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・公園補修事業 ・公園トイレ改修事業			

【事業分析】

対象	公園利用者が
目的	安全で安心して利用できる公園になります。
手段	公園施設等の修繕及び改修を行います。
事務内容	公園施設等の修繕・工事、公園施設長寿命化計画の実施、公園リニューアル整備の実施

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	168,508	179,094	242,311
事業費	156,538	158,304	220,891
国庫支出金	39,000	33,600	21,500
県支出金	0	0	5,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	1
一般財源	117,538	124,704	194,390
人件費計	11,970	20,790	21,420
正規（人）	1.90	3.30	3.40
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・危険遊具の更新 ・各公園施設の修繕 ・公園施設長寿命化工事 ・公園リニューアル実施設計及び工事 ・健康遊具設置工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険遊具の更新 ・各公園施設の修繕 ・公園施設長寿命化工事 ・公園リニューアル実施設計及び工事 ・健康遊具設置工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険遊具の更新 ・各公園施設の修繕 ・公園施設長寿命化工事 ・公園リニューアル実施設計及び工事

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02245 公園補修事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
事故件数（管理瑕疵による事故）	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
改修した公園トイレ	個所	58.00	58.00	0.00
		58.00	58.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	公園に関し問い合わせは多く市民ニーズは高いものがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	近年管理瑕疵による事故は発生していません。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	公園施設長寿命化計画に基づき効率的に事業進捗を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	公園施設長寿命化計画に基づき効率的に事業進捗を図っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	昨今の健康志向の高まりもあり、今後も公園に対する市民ニーズは非常に高く、市民に良好に管理された公園を提供していく必要があります。市内104公園のうち昭和期に整備された公園をはじめ、経年劣化による施設の老朽化が目立ってきており、早期に補修や更新が必要な状況となっています。施設の補修や更新には多額の費用が必要となりますが、国庫補助金を活用するなどして効率的に事業を継続していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02246 堀内公園管理事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）				
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成				
事務事業	010 堀内公園管理事業				
事業期間	平成 4年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市都市公園条例				
備考					

【事業分析】

対象	堀内公園利用者が
目的	安全に安心して公園利用することができます。
手段	指定管理者による公園施設（大型遊具含む）の点検・清掃・植栽等の維持管理、及び、有料遊具の運行・料金徴収等の運営を行います。
事務内容	有料遊具の運行、利用料金の徴収、施設の清掃・点検、夜間警備、樹木管理、鳥類の飼育等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和 2年度 予算額
トータルコスト	83,955	73,721	76,474
事業費	82,065	72,146	75,214
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	547	378	342
一般財源	81,518	71,768	74,872
人件費計	1,890	1,575	1,260
正規（人）	0.30	0.25	0.20
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> 観覧車の駆動部交換 汽車メルヘン号のオーバーホール 汽車メルヘン号枕木修繕 展示棟空調機器修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 観覧車の乗りかごアクリル窓交換 汽車メルヘン号枕木修繕 メリーゴーランドクランク軸ほか修繕 ローラー滑り台及びターザンロープ手すり床材修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 汽車メルヘン号車両電気関係整備 汽車メルヘン号枕木修繕 メリーゴーランド屋根防水修繕 観覧車盤用冷却ファン取替

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
令和 2 年 8 月 20 日
12 時 03 分 39 秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02246 堀内公園管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
苦情件数	件	10.00	10.00	10.00
		0.00	0.00	0.00
利用者数（固定遊具・バッテリーカー利用数は除く）	千人	425.00	432.00	446.50
		396.00	492.69	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年多数の有料遊具利用者がおり高い市民ニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画を上回る利用者数がありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度導入により効果的に事業運営されています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	安価な有料遊具が利用できる身近な公園として親しまれています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成20年からの指定管理者による効果的で効率的な施設管理がされており、引き続き同制度を活用し事業を行っていきます。 毎年多くの有料遊具利用者のある市民にとって身近な公園であるため、今後も事業を継続していく必要があります。 令和4年度には開園30周年を迎え、更なる魅力向上を図るため遊具施設の新設等の検討が必要となっています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5 頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02247 公園愛護会事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成			
事務事業	011 公園愛護会事業			
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市公園愛護会要綱			
備考				

【事業分析】

対象	愛護会の参加者が
目的	公園内の緑地保全等について積極的に参加するようになります。
手段	きめ細やかな公園管理と環境美化への啓発及び公園愛護意識の高揚を図る団体に対し支援を行います。
事務内容	公園愛護会の設立、実施計画、実績報告、変更・廃止等手続き、報償金の交付

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	15,448	15,306	16,075
事業費	13,558	13,731	14,500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,558	13,731	14,500
人件費計	1,890	1,575	1,575
正規（人）	0.30	0.25	0.25
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 毎月1回以上 ・除草 年3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 毎月1回以上 ・除草 年3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 毎月1回以上 ・除草 年3回以上

事務事業評価シート (2/2)

6頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02247 公園愛護会事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
愛護会活動団体数	団体	106.00	106.00	105.00
		105.00	104.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会や子ども会等の活動メニューとして高いニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	設立された団体数から廃止団体があり目標を下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	愛護会はボランティア組織であり市民活力が活用されています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	公園愛護会制度はボランティアであり適正なものとなっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	公園の除草や清掃はシルバー人材センターや業者に委託して実施していますが、加えて地元住民で構成される公園愛護会がよりきめ細かい除草や清掃を愛情を持って行っており委託業者の補完機能となっています。公園愛護会のない公園では維持管理レベルが低下するため、愛護会の新規設立や環境意識を高める啓発を行っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02248 公園施設管理事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）				
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成				
事務事業	012 公園施設管理事業				
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	公園利用者が
目的	安全で安心に利用できるよう適切な公園管理を行います。
手段	委託や直営により、公園施設の円滑な管理や環境美化の推進を図る維持管理を行います。
事務内容	蒸気機関車管理、公園遊具点検、安城公園動物舎施設管理、浄化槽保守点検、公園夜間警備、公園トイレ清掃、松くい虫薬剤防除、公園樹木等管理

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	292,736	293,199	311,773
事業費	279,191	274,929	293,188
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	279,191	274,929	293,188
人件費計	13,545	18,270	18,585
正規（人）	2.15	2.90	2.95
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気機関車管理 ・公園遊具点検 ・浄化槽保守点検 ・公園夜間警備 ・公園トイレ清掃 ・松くい虫薬剤防除 ・公園樹木管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気機関車管理 ・公園遊具点検 ・浄化槽保守点検 ・公園夜間警備 ・公園トイレ清掃 ・松くい虫薬剤防除 ・公園樹木管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気機関車管理 ・公園遊具点検 ・浄化槽保守点検 ・公園夜間警備 ・公園トイレ清掃 ・松くい虫薬剤防除 ・公園樹木管理

事務事業評価シート (2/2)

8頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02248 公園施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
事故件数 (管理瑕疵による事故)	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	公園に関し問い合わせは多く市民ニーズは高いものがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	公園施設の管理瑕疵による事故の発生はありませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	業者への業務委託や愛護会により効率的に事業を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	安全・安心・快適に利用できる公園を提供しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新規公園の開設により管理数の増加に伴い業者委託等の管理料は増加しますが、公園愛護会設立を啓発するなどして管理費用を抑制しながら一定の管理水準の確保を図る必要があります。 堀内公園、安祥城址公園と柿田公園及び里緑地に指定管理者制度を導入し効率的に公園管理事業を実施しています。 今後も適正な公園管理に努め、市民に安全・安心・快適で市民の健康増進に寄与できる公園を提供していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02249 街路樹愛護会事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成			
事務事業	013 街路樹愛護会事業			
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市街路樹愛護会要綱			
備考				

【事業分析】

対象	愛護会の参加者が
目的	市内の緑地保全等について積極的に参加するようになる
手段	都市の環境美化を図り、あわせて街路樹愛護の精神の高揚を図る団体に対し支援を行います。
事務内容	街路樹愛護会の設立、実施計画、実績報告、変更・廃止等手続き、報償金の交付

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	8,016	7,121	7,911
事業費	6,126	6,176	6,966
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,126	6,176	6,966
人件費計	1,890	945	945
正規（人）	0.30	0.15	0.15
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 毎月2回以上 ・除草 年3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 毎月2回以上 ・除草 年3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃 毎月2回以上 ・除草 年3回以上

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02249 街路樹愛護会事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
愛護会活動団体数	団体	53.00 53.00	53.00 52.00	52.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会や子ども会の活動メニューとして高いニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	設立された団体数から廃止団体があり目標値を下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	愛護会はボランティア組織であり市民活力が活用されています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	街路樹愛護会はボランティアであり適正となっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	業者委託の街路樹管理の補完機能として、地元住民で構成される街路樹愛護会がよりきめ細かい除草や清掃を愛情を持って行なっています。 愛護会のない街路樹は維持管理レベルが低下するため、愛護会の新規設立や環境意識を高める啓発を行っていく必要ががります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和2年8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02250 樹林・樹木保全事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	002	人がふれあうまちの形成		
事務事業	014	樹林・樹木保全事業		
事業期間	昭和61年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市緑化条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	緑を保全することで、自然と調和した緑あふれる生活環境になります。
手段	保護樹木や樹林保全地区の緑の保護を図ります。 松くい虫被害木自主駆除・薬剤防除及び地域花壇設置について補助金の交付を行います。
事務内容	保護樹木・樹林保全地区の指定、指定変更届の受付、助成金の支払 松くい虫被害木自主駆除・薬剤防除及び地域花壇設置補助申請の審査、決定、交付

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	3,288	7,179	7,826
事業費	1,713	6,234	7,196
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,713	6,234	7,196
人件費計	1,575	945	630
正規（人）	0.25	0.15	0.10
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none">・保護樹木・樹林保全地区・松くい虫被害木自主駆除・松くい虫薬剤防除	<ul style="list-style-type: none">・保護樹木・樹林保全地区・松くい虫被害木自主駆除・松くい虫薬剤防除・地域花壇設置	<ul style="list-style-type: none">・保護樹木・樹林保全地区・松くい虫被害木自主駆除・松くい虫薬剤防除・地域花壇設置

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02250 樹林・樹木保全事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
松くい虫被害木自主駆除申請件数	件	10.00	10.00	10.00
		4.00	8.00	0.00
樹林保全地区面積	㎡	116,708.00	120,358.00	121,848.00
		120,358.00	121,848.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境意識の向上により緑あふれる生活環境が求められています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	松くい虫被害木自主駆除申請件数が8件に留まりました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	補助制度が松くい虫被害の拡散を防止しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	クロマツは市の木であり、松くい虫に関する補助制度は必要です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>樹林・樹木保全事業について市民の認知度が低いと大切に保護されてきた樹林・樹木が失われたり、松くい虫の被害木を放置することにより安城市の木であるクロマツの保全が困難となる恐れがあります。</p> <p>このため、樹林・樹木保全事業のPRを行い事業を維持継続することで、良好な生活環境形成に寄与する緑の保全に努めていきます。</p> <p>指定された保護樹木や樹林保全地区が所有者の都合で廃止されましたが、新たに保護樹木や樹林保全地区の確保をしました。</p> <p>今後も保護樹木や樹林保全地区の確保に努めていきます。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02251 花とみどりの普及事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	002	人がふれあうまちの形成			
事務事業	015	花とみどりの普及事業			
事業期間	昭和55年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	自然と触れ合え住み良い生活環境のもとで生活できます。
手段	生垣等設置奨励、緑の街並み推進及び市民参加緑づくりについて補助金の交付を行います。 緑化推進のため、苗木や種子を地域へ配布したり、ガーデニングコンテストの支援を行います。
事務内容	生垣等設置奨励、緑の街並み推進及び市民参加緑づくりについて、補助申請の審査、決定、交付 苗木や種子の配布 ガーデニングコンテストの開催案内、写真の掲示

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	14,257	9,844	16,839
事業費	9,532	5,434	12,429
国庫支出金	0	0	0
県支出金	8,039	3,776	10,000
地方債	0	0	0
その他	29	48	55
一般財源	1,464	1,610	2,374
人件費計	4,725	4,410	4,410
正規（人）	0.75	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣等設置奨励 ・緑の街並み推進 ・駐車場緑化 ・市民参加緑づくり ・ガーデニングコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣等設置奨励 ・緑の街並み推進 ・駐車場緑化 ・市民参加緑づくり ・ガーデニングコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣等設置奨励 ・緑の街並み推進 ・駐車場緑化 ・市民参加緑づくり ・ガーデニングコンテスト

事務事業評価シート (2/2)

14 頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02251 花とみどりの普及事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
ガーデニングコンテスト参加により民有地の緑化が推進される件数	件	50.00 67.00	50.00 121.00	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境意識の向上により緑あふれる生活環境が求められています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	121件のコンテスト応募がありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	生垣等設置補助奨励などにより緑化推進に寄与しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体と同様に民有地の緑化推進を図る必要があります。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	生垣等設置奨励・緑の街並み推進及び市民参加緑づくりについて、現状以上に緑あふれる街並みの形成を推進されるためにも事業を維持継続していく必要があります。 このため、みどりの普及事業のPRを行い事業を維持継続することで、良好な生活環境形成に寄与する緑の普及に努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

15頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02252 緑のネットワーク事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）				
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成				
事務事業	016 緑のネットワーク事業				
事業期間	平成元年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	緑道の利用者や沿線周辺住民が
目的	みどり豊かで良好な環境を活用できます。
手段	業務委託により緑道の樹木剪定・防除・除草等を実施して適正な維持管理を行います。
事務内容	緑道の樹木剪定、防除、除草、緑地帯清掃、パトロール等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	149,683	172,002	168,307
事業費	143,068	165,702	162,007
国庫支出金	0	0	0
県支出金	28,037	28,012	28,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	115,031	137,690	134,007
人件費計	6,615	6,300	6,300
正規（人）	1.05	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道樹木等管理 ・修景施設修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道樹木等管理 ・修景施設修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道樹木等管理 ・修景施設修繕

事務事業評価シート (2/2)

16 頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 02252 緑のネットワーク事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
ネットワークのみどりを 守る団体数	団体	25.00 24.00	25.00 23.00	24.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境及び健康意識向上により緑道保全の必要性が高まっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	廃止された団体もあり目標に達しませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	多くの業務を外委託し事業改善を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と同様の緑道樹木管理であり適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新規緑道が築造され管理延長が増加する状況下で費用を抑制する方策を検討しながら、良好な緑道樹木管理を継続していきます。また樹木維持管理業務において高木の点検を行うなどして、枯木や腐朽菌に感染した樹木等について適正な樹木管理に取り組み、市民満足度の向上に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

17頁
令和 2年 8月20日
12時03分39秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 03092 柿田公園・里緑地管理事業

所属長名 伊藤 洋一
担当者 奥村 智明
電話番号 0566-71-2244

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	002 人がふれあうまちの形成			
事務事業	044 柿田公園・里緑地管理事業			
事業期間	平成31年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分		事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市都市公園条例			
備考				

【事業分析】

対象	柿田公園と里緑地の利用者が
目的	安全に安心して公園と緑地を利用することができます。
手段	指定管理者による公園と緑地の点検・清掃・植栽等の維持管理を行います。
事務内容	施設の清掃・点検・修繕、樹木管理、公園グラウンド利用受付

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	0	30,545	30,396
事業費	0	28,655	28,821
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	28,655	28,821
人件費計	0	1,890	1,575
正規（人）	0.00	0.30	0.25
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・施設清掃 ・施設点検 ・施設修繕 ・樹木管理 ・公園グラウンド利用受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設清掃 ・施設点検 ・施設修繕 ・樹木管理 ・公園グラウンド利用受付

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001402030 公園緑地課花とみどりの係
事務事業 03092 柿田公園・里緑地管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
事故件数（管理瑕疵による事故）	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取り組みであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	公園や緑地に関し問い合わせは多く、高い市民ニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	施設の管理瑕疵による事故の発生はありませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度導入により効果的効率的に管理されています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	安全・安心に利用できるよう公園と緑地が管理されています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成31年度から指定管理者による効果的で効率的な施設管理がされており、引き続き同制度を活用し事業を行っていきます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。